

データ リテラシー プログラム

データ リテラシーを 備えた従業員の育成

企業の戦略とフレームワーク

目次

競争優位性獲得のためのデータ リテラシーの強化	3
トップダウンによるデータ リテラシーの推進	4
データ リテラシー プログラムのベストプラクティスを実現する6段階のステップ	6
ステップ 1: 計画と構想	5
ステップ 2: コミュニケーション	6
ステップ 3: 従業員のアセスメント	7
ステップ 4: 文化的学習	7
ステップ 5: 標準学習	8
ステップ 6: 測定	8
サイクルの繰り返し	9
従業員のアセスメント: データ リテラシー ペルソナの導入	9
データ貴族	9
データ騎士	10
データドリーマー	10
データ懐疑主義者	10
データ リテラシーの学習と強化のためのロードマップ	11
データ貴族向けの学習資料	11
データ騎士向けの学習資料	12
データドリーマー向けの学習資料	13
データ懐疑主義者向けの学習資料	14
データ リテラシーを始めよう	15



競争優位性獲得のための データリテラシーの強化

ビッグデータおよびアナリティクスの製品とサービスからの収益は、2020年までに2,000億ドルを突破する見込みです。1993年以来、当社はビッグデータとアナリティクスに投資しているお客様のデータ探索を支援してきました。お客様が存在すら知らなかった関連性を見つけ出すことで、熾烈なグローバル経済においてお客様の競争力増強に貢献しています。

しかし多くの企業には、重大な問題が存在します。Qlikの調査によると、下位管理職から最高責任者レベルに至るビジネス意思決定者のうち、データの読み取り、使用、分析、データを使った議論の能力という、個人のデータリテラシーという基本スキルに十分な自信を持っている人はわずか24%に過ぎません。

しかし幸いなことに、大半の人々(78%)が、データ関連のスキルセット向上にさらに多くの時間と労力を注ぎたいと答えています。このような関心を行動に移すには、どのような方法が最善でしょうか。

Qlikは、ビジネスの変革と社会の改善を可能にするため、データリテラシーに優れた世界の構築に取り組んでいます。その構想の一環として、組織全体にわたる動的データリテラシープログラムを開発するための6段階のアプローチを紹介します。このプログラムを実施することで、すべての従業員がすべてのデータを自由に探索できるようになります。

目標：貴社を市場のトップ企業へと変革するとともに、貴社が職業能力開発に資金を投じて活性化、強化した従業員に対し、会社への忠誠心を醸成します。

データリテラシーとは

データリテラシーは、役割、スキルレベル、使用するBIツールにかかわらず、データを読み、使い、分析し、データを使って議論する能力です。

データリテラシーが向上すると、意思決定スキルが向上します。データに基づいて適切な質問を行い、発見を解釈し、情報に基づいた行動を取ることができるからです。



¹<https://tdwi.org/articles/2017/05/04/big-data-and-analytics-spending-projected-to-soar.aspx>

²この調査は、2017年8月から2018年2月にかけて、Qlikの依頼に基づきCensuswideによって実施され、ヨーロッパ、アジア、および米国で勤務する7,377名のビジネス意思決定者(下位管理職以上)が調査対象となりました。レポートの全文は、qlik.com/data-literacy-reportから入手してください。

トップダウンによるデータリテラシーの推進

最高データ責任者 (CDO) は、データリテラシーイニシアチブの主導者兼推進者として理想的な存在です。データの取り扱いに精通し、熱意があり、実際にデータを取り扱っている CDO は、組織がデータリテラシーの文化を受け入れるように促すことができます。また、データリテラシープログラムを CDO の職務の一部とすることで、このプログラムに対する抵抗の可能性が大幅に減少します。

CDO を置いていない場合、データリテラシーの価値を理解し、信じている最も職位の高い人物を推進グループに加えることが考えられます。これには、アナリティクス担当副社長も含まれますが、データサイエンティスト、ビジネスアナリスト、またはビジネスユーザーの可能性もあります。重要なのは任務への情熱です。

推進グループには、データリテラシープログラムの推進役として、最高責任者レベルの経営幹部を少なくとも1名メンバーとして加える必要があります。メンバーの獲得にあたっては、このプログラムがデータイニシアチブに対する会社の既存投資について、投資回収率を向上させる力があることを示してください。

データリテラシーを構築することで、ビジネスの改善機会を求めている人々のランクが上がります。データリテラシープログラムの目標は、データサイエンティストだけでなく、すべての従業員がデータを読み、使い、分析し、データを使って議論できるように能力(および動機)を強化することです。データリテラシーを備えた従業員が増えれば、より大きな影響が企業にもたらされます。真のビジネス変革が真のビジネス成果につながるのです。

最高データ責任者とは

「... 最高データ責任者は、データ管理、データ品質の保証、データ戦略の作成など、さまざまなデータ関連の業務を監督します。データアナリティクスやビジネスインテリジェンス、データから貴重なインサイトを抽出するプロセスを担当する場合もあります ...」

... 「戦略的計画の前提条件」という新しいタイトルの最近のレポートでは、2019年までに大規模組織の90%が最高データ責任者を置くと予測されています。

出典 : Zetlin, Minda, “[What is a chief data officer? A leader who creates business value from data.](#)” CIO, October 25, 2017.

データリテラシープログラムのベストプラクティスを実現する6段階のステップ



企業は、規模やフォーカスに関係なく、図1に示す手順に従ってデータリテラシープログラムを開発することができます。以下では、初めてプログラムを確立する場合の順序に従って説明します。長期的には、このサイクルを繰り返して、組織全体にプログラムを拡大します。

ステップ1



計画と構想

強力なデータリテラシープログラムを導入するには、まず、組織内の主要なデータイニシアチブと戦略の担当者間で正式な協議を行います。

この協議では、プログラムで重要な3つの点を明確にする必要があります。

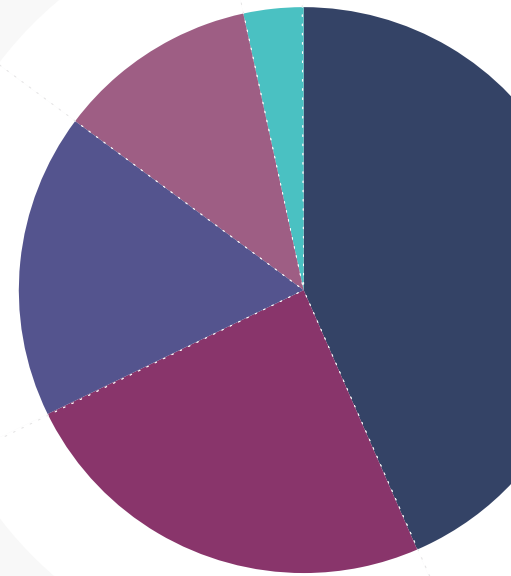
参加者：最初のデータリテラシープログラムへの参加者は、組織の規模を考慮して判断します。小規模企業の場合は、組織全体が参加することもできます。大規模企業の場合は、特定の個人、チーム、または部門を対象とする方が、有用かもしれません。

最初の参加者には、既にデータ主導型意思決定において役割を果たし、コミュニケーションに優れた人物を選択してください。データの取り扱いに熱意があるユーザーを選択することで、別のグループを追加した場合に、データリテラシープログラムの推進が容易になります。

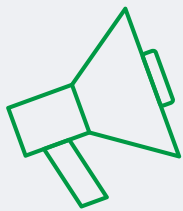
予算措置：トップによる予算承認を取り付けます。ビジネスインテリジェンス、変更管理、その他のデータイニシアチブの予算にこのプログラムを含めるように根回しすることも考えられます。または、データリテラシープログラムの確立と運営用に、専用の予算を別途提案します。

当社の6段階のアプローチを採用することで、コストを押し上げる可能性のある誤った初動や失敗を排除できるため、予算内でのプロジェクト運営が容易になります。「データリテラシー入門」のセクションで紹介されているようなコスト削減手法を確認してください。たとえば、無料で利用できるオンラインモジュールを使用して、データリテラシーを習得します。

期限：データリテラシープログラムを定義して導入する予定期日を設定します。目安として、当社が認識しているところでは、推奨されている最初の3段階（協議、コミュニケーション、アセスメント）は通常、3か月以内に完了します。その他の段階（文化的学習、標準学習、測定）は、評価が終わった次の月に開始できます。参加者が早期にプログラムを始めるように促すには、業務日のスキルの習得を許可するのが最善の方法です。参加者が業務時間外の時間をスキル習得に費やすことを期待するよりも、作業負荷を調整したほうが成功の可能性が高くなります。

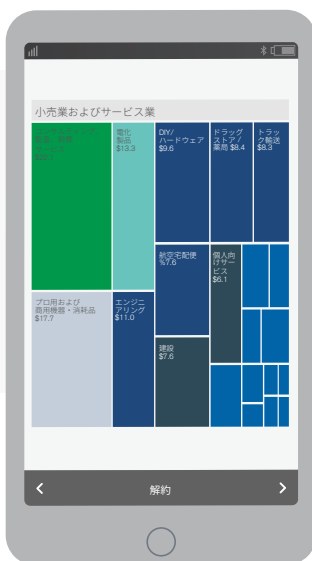


ステップ2



コミュニケーション

誤解や噂を防いでプログラムを円滑に開始するにはコミュニケーションが重要です。参加者がデータリテラシープログラムの実施理由を最初から理解できるように、入念なコミュニケーション計画を作成します。プログラムの手法や内容の詳細を説明するのではなく、参加者自身にとってのメリットを説明してください。データリテラシーは、参加者の現在の業務に発見の楽しさと自信をもたらします。また職業能力開発を通してキャリアの向上にもつながります。



プログラムの透明性を当初から確保してください。プログラムの拡大につれ、最初の参加者だけでなく、組織内の全員にメリットがもたらされることを保証します。このプログラムは会社全体の成功にとって重要であるため、経営陣がしっかりとサポートしていることを確実に伝えてください。

データリテラシープログラムの導入理由が十分に理解されたら、組織の確立されたコミュニケーションチャンネルを通じてプログラムの詳細を共有することができます。プログラムの進捗状況は組織全体に拡散し、進捗をたたえるとともに、参加者の業務に刺激が加わったことを伝えます。データリテラシープログラムは一度限りの実施ではなく、組織の成長における動的な一部であることを明確にします。

ステップ3



従業員のアセスメント

プログラム参加チームのリーダーは、データリテラシーに関するチームメンバーの現在の習熟度レベルを先入観や思い込みに頼って判断しないでください。

参加者にこのオンラインセルフサービスツール (thedataliteracyproject.org/assessment) を紹介してください。このツールは、24時間いつでも無料でアクセスできます。

このアセスメントの結果では、データ取り扱いの習熟度レベルが、異なるレベルのデータリテラシーを表す4つのデータペルソナ(データ貴族、データ騎士、データドリーマー、データ懐疑主義者)によって示されます。これらのペルソナについては、後述の「従業員の評価: データリテラシーペルソナの導入」のセクションで詳細に説明します。

各ペルソナには、学習の手引きとなる標準学習ロードマップが用意されています。この規範的学習は即座にメリットが得られるように考案されており、現在の業務をより効果的にこなせるようになるとともに、次の段階のキャリアに進む準備を整えることができます。

チームと個人は、データリテラシープログラムを開始してから90日以内にこのアセスメントを受ける必要があります。このアセスメントは、データリテラシープログラムに実際に参加している人だけでなく、データリテラシーに興味のある組織内のすべての人が受けることができます。これを活用して、幅広い従業員の間でこのプログラムへの認知度を高めることができます。

アセスメントを受ける

[ここをクリック](#)して、

オンラインセルフサービス評価を受け、現在のデータリテラシーレベルに最適なペルソナマップを確認してください。アセスメントは無料で受けることができます。当社はビジネスを変革し、社会を改善するデータの威力を確信しています。

ステップ4



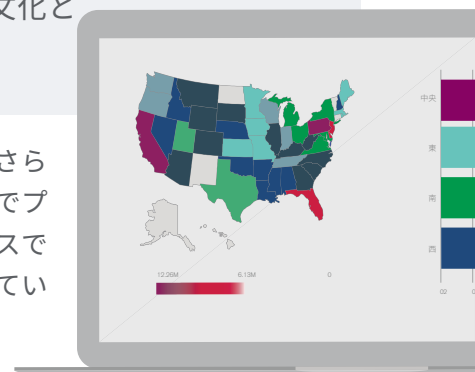
文化的学習

データリテラシープログラムの実施は、他の形態の変更管理と同様に進めます。業務の遂行方法に極端な変更を強いてはなりません。データリテラシーの強化は、文化的学習を行ったうえで、価値が認めれた文化が既存の文化と融合することで実現されます。

実施するデータリテラシープログラムは、参加者の文化的学習に直接影響します。さらにたとえばミーティングでこれまで以上にデータの利用を推進するなど、簡単な工夫でプログラムの参加者以外にまで学習を拡大することができます。現在の意思決定プロセスでデータの使用が必須である例を示してください。文化的学習が組織内ですでに始まっていることを示すことができます。

次の資料は、文化学習を推進するうえで役立ちます。

- オンラインモジュール: [データリテラシーの文化](#)
- Qlik® のインストラクターによるトレーニング: [データアナリティクスの基礎 \(文化的学習について説明されています\)](#)
- 書籍: [「Data Fluency: Empowering your Organization with Effective Data Communication」](#)



ステップ5



標準学習

この文書で後述する標準学習ロードマップは、厳格な学習計画ではありません。ロードマップでは、数百に上るお客様とのやり取りで得た情報をもとに、学習資料が「ビューフェ形式」で用意されており、参加者はそれぞれの学習スタイルやその日の空き時間に従って学習資料を選択できます。

ロードマップは、データ貴族、データ騎士、データドリーマー、データ懐疑主義者のニーズに従って設計されているため、概念が難しすぎて学習者が途方に暮れることはありません。また逆に習得済みのスキルで時間を無駄にしたり、退屈に感じたりすることはありません。

繰り返しになりますが、データリテラシープログラムの成功には、毎日のスケジュールに必ず学習時間を組み入れる必要があります。週に1時間か4時間かは問いません。学習者は、組織が業務遂行におけるデータリテラシーの重要性を確信していることを知る必要があります。

「学習」であって、「トレーニング」ではありません

データリテラシープログラムについて伝える際に、「トレーニング」という言葉を使わないようにしてください。トレーニングという言葉は、完了すべき日常業務が増えたようなネガティブなイメージを与える可能性があります。その代わりに、データリテラシーに関して学習することのメリットとして、業務面での向上と職業上のキャリアアップを強調してください。

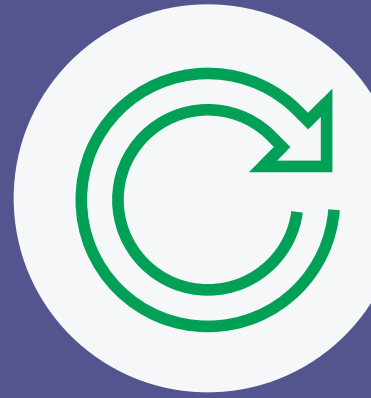
ステップ6



測定

データリテラシープログラムの最初の話し合いでは、プログラムを評価し、プログラムの延長の根拠とするメトリックの種類を定義します。これには、プラスの傾向、データの使用、完了したコース数、授与された認定などを使用します。

進捗状況の測定頻度を決定するとともに、良い結果を広く周知します。好ましくない傾向が生じたときは、素早く「事後分析」を行って悪かった点(また良かった点)を特定し、失敗を改善の足がかりにしてください。



サイクルの繰り返し

チームがデータリテラシープログラムを完了したら、ここで説明した6段階のステップを何度も繰り返してください。サイクルを繰り返すたびにデータリテラシープログラムが強化、拡張されるため、個人と組織の両方にメリットがあります。可能であれば、新入社員の新人研修にデータリテラシーの入門編を組み込んでください。これにより、文化的学習を初日から開始できます。

6～12か月ごとにデータリテラシーについての議論を更新して、プログラムの成功を祝います。同時に、ゲーミフィケーションなどプログラムにより多くの価値をもたらすイノベーションを組み入れ、正のフィードバックループを確保します。

何よりも、データリテラシープログラムに関する透明性の高いコミュニケーションを維持することが大切です。またデータを使ってリードできる組織が増えているため、テクノロジーとテクニックの新しい開発情報を常に入手してください。データリテラシーの文化的学習が組織全体で深まり、広がるにつれて、競争力が強化されるとともに、活気と自信に満ちた会社への忠誠心の高い人材が増加します。

従業員のアセスメント： データリテラシーペルソナの導入

ステップ3では、プログラム開始時に、各プログラム参加者がデータおよびデータリテラシーの習熟度レベルを評価することの重要性について説明しました。

当社の経験によると、ほとんどの人は最もスキルの高いデータ貴族から、最もスキルが低くデータについて懐疑的ですからあるデータ懐疑主義者までの4種類のデータリテラシーペルソナのいずれかに分類できます。この2つの間には、データ騎士とデータドリーマーがあります。

アセスメントを受ける

[ここをクリック](#)して、オンラインセルフサービス評価を受け、現在のデータリテラシーレベルに最適なペルソナマップを確認してください。



データ貴族:最も高いデータリテラシーを備え、高度なスキルセットとデータアナリティクスの経験を備えています。データサイエンティストも含まれます。このペルソナの従業員には、ストーリーテリングやアルゴリズム、データアナリティクスの最新手法についての継続的学習をサポートします。またデータ貴族のリーダーシップやメンタリングのスキル開発を支援して、他の従業員を説得し指導できる人材へと育成すると、組織がデータを使ってリードするうえで役立ちます。



データ騎士:データ騎士は、自身のデータリテラシー強化に前向きで、データサイエンス、アルゴリズム、統計分析のスキルをさらに高めたいと強く望んでいます。データ騎士はデータ貴族への進歩を視野に入れており、リーダーシップやメンタリング、全般的なビジネススキルの向上も目指しています。このペルソナの従業員には、ストーリーテリングのスキルを強化することで、データリテラシーの威力を示してください。



データドリーマー:データドリーマーはまだデータリテラシーの初期段階にありますが、現在の役割でデータを扱うことの利点を認識しています。このペルソナに必要なのは、データと分析、および批判的思考とアナリティクス思考に関する基礎的な学習です。その後、これを基礎として、高度なアナリティクスの概念、ビジュアライゼーション、ストーリーテリングのスキルを習得します。



データ懐疑主義者:データ懐疑主義者の多くは、データ主導型意思決定とデータ主導のプロセスの価値に懐疑的です。このような従業員には、通常、意思決定の基準としている直観や仲間内の知識をデータで検証することのメリットを示す必要があります。意識向上トレーニングは、変化への抵抗感を克服するための前提条件です。懐疑主義者は、データリテラシーの基本的な作業を開始するときに、自分の既存の長所を活用できることを理解する必要があります。データリテラシーの作業は役割の一部であって、面倒な余分の仕事ではありません。このペルソナは、データリテラシープログラムの順調な展開を阻害する障害となる可能性があるため、十分に注意する必要があります。

データリテラシーの学習と強化を円滑に進めるための一連の要件は、各ペルソナによって異なります。次のセクションでは、ペルソナ別のスキル構築のロードマップを示します。このロードマップでは、「ビュッフェ形式」で提供された学習資料を使用して、各ペルソナのデータリテラシーを最大限に開発できます。

データリテラシーの学習と強化のためのロードマップ

このセクションのチャートでは、データリテラシーのレベルアップに適した学習資料を、各パーソナルの目標スキルセットごとに示します。



データ貴族向けの学習資料

目標のスキルセット	求める結果	学習資料
リーダーシップ	会社内のリーダーシップの役割へと育成	<ul style="list-style-type: none"> 書籍: 「Why から始めよ！」
メンタリング	他の従業員に対するリーダーシップとメンタリング	<ul style="list-style-type: none"> 書籍: 「The Mentor's Guide: Facilitating Effective Learning Relationships」 書籍: 「One Minute Mentoring」
コミュニケーション / カリスマ性	スピーチ チーム全体のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ コース / 書籍 書籍: 「The Charisma Myth: How Anyone Can Master the Art and Science of Personal Magnetism」 書籍: 「How to Have Confidence and Power in Dealing with People」 書籍: 「人を動かす」
統計 / アナリティクススキル	統計の継続的学習 / 業界動向 予測的モデリング、データサイエンスなどの最新動向	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャスト: 「Data Skeptic」
コーディング	R、Python などのコーディングスキルの強化 既にスキルセットを身に付けているが、継続的に学習と強化が必要な場合など	<ul style="list-style-type: none"> Web サイト: www.coursera.org Web サイト: www.datacamp.org Web サイト: www.udemy.com
ビジュアライゼーションやストーリーテリングの継続的学習	高度なビジュアライゼーションを構築するための最新ツールの展開を確認 高度なストーリーテリング	<ul style="list-style-type: none"> Qlik Continuous Classroom (Qlik 継続的クラスルーム) の学習パス: 「ビジネスアナリスト、データアーキテクト、システム管理者」 書籍: 「The Story Factor: Inspiration, Influence, and Persuasion through the Art of Storytelling」 書籍: 「Resonate: Present Visual Stories that Transform Audiences」
その他		<ul style="list-style-type: none"> ブログ: https://blog.qlik.com/jordan-morrow/ オンラインセミナー: 「データサイエンスセントラル-ギャップを埋める」 オンラインセミナー: Forrester - 「データリテラシーを使ってインサイト主導型文化を構築する」 データアナリティクス Qlik 認定



データ騎士向けの学習資料

目標のスキルセット	求める結果	学習資料
マインドセット	批判的思考 / アナリティクス思考のスキルの開発 意思決定リテラシーのスキルの開発	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャスト: 「Freakonomics」 ポッドキャスト: 「More or Less」 書籍: Freakonomics シリーズ (特に「0 ベース思考」) 書籍: 「The Demon-Haunted World—Science as a Candle in the Dark」
リーダーシップ	リーダーシップ原則の学習および開発 自身の弱点の把握とスキルの開発	<ul style="list-style-type: none"> 書籍: 「Why から始めよ!」 書籍: 「モチベーション 3.0: 持続する「やる気!」をいかに引き出すか」
コミュニケーション	データの語彙や流暢さのスキルを学習 / 開発 データリテラシーのメッセージを水平 / 垂直方向に拡散して伝達	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ コース / 書籍 書籍: 「人を動かす」
統計 / アナリティクススキル	統計の継続的学習 / 業界動向 予測的モデリング、データサイエンス、アナリティクス手法などの最新動向	<ul style="list-style-type: none"> Qlik ILT: 「データ アナリティクスの基礎」 ポッドキャスト: 「Data Skeptic」
コーディング	業務の完全な掌握に必要なコードの継続的学習 初心者向けのコーディングの開発と学習および統計用語の基礎。	<ul style="list-style-type: none"> 書籍: 「Naked Statistics」 書籍: 「シグナル & ノイズ: 天才データアナリストの予測学」
ビジュアライゼーションやストーリーテリングの継続的学習	データストーリーテリングのスキルの学習 ビジュアライゼーション構築のスキルの開発と獲得	<ul style="list-style-type: none"> Qlik Continuous Classroom (Qlik 継続的クラスルーム) のトラック: 「ビジネス アナリスト、データ アーキテクト、システム管理者」 書籍: 「The Story Factor: Inspiration, Influence, and Persuasion through the Art of Storytelling」 書籍: 「Resonate: Present Visual Stories that Transform Audiences」
その他		<ul style="list-style-type: none"> ブログ: https://blog.qlik.com/jordan-morrow/ オンラインセミナー: 「データサイエンス センtral - ギャップを埋める」 オンラインセミナー: Forrester - 「データリテラシーを使ってインサイト主導型文化を構築する」

データドリーマー向けの学習資料

目標のスキルセット	求める結果	学習資料
マインドセット	批判的思考 / アナリティクス思考のスキルの開発 意思決定リテラシーのスキルの開発	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオ : 「Decision Intelligence with Cassie Kozyrkov」 • 書籍 : 「The Demon-Haunted World—Science as a Candle in the Dark」
リーダーシップ	リーダーシップ原則の学習および開発 自身の弱点の把握とスキルの開発	<ul style="list-style-type: none"> • 書籍 : 「First, Break All the Rules」 • 書籍 : 「人を動かす」 • 書籍 : 「モチベーション 3.0」
コミュニケーション	データの語彙や流暢さのスキルを学習 / 開発 データに関する計画と思考の伝達能力の開発	<ul style="list-style-type: none"> • スピーチ コース / 書籍 • 書籍 : 「人を動かす」
統計 / アナリティクススキル	統計 / アナリティクスの概念とトレンドの学習を開始 アナリティクスの基礎知識の学習と理解	<ul style="list-style-type: none"> • Qlik ILT: 「データ アナリティクスの基礎」 • ポッドキャスト : 「Data Skeptic」 • 書籍 : 「Naked Statistics」
コーディング	コーディングに関する初歩的スキルの開発と理解	<ul style="list-style-type: none"> • 書籍 : 「シグナル & ノイズ : 天才データアナリストの予測学」
ビジュアライゼーションやストーリーテリングの継続的学習	ビジュアライゼーション構築の初歩的スキルの開発 基礎的なチャートとその目的の学習	<ul style="list-style-type: none"> • Qlik Continuous Classroom (Qlik 継続的クラスルーム) のトラック : 「ビジネス アナリスト、データ アーキテクト、システム管理者」 • 書籍 : 「The Story Factor: Inspiration, Influence, and Persuasion through the Art of Storytelling」 • 書籍 : 「Resonate: Present Visual Stories that Transform Audiences」
その他		<ul style="list-style-type: none"> • ブログ : https://blog.qlik.com/jordan-morrow/ • オンラインセミナー : 「データサイエンス センtral-ギャップを埋める」 • オンラインセミナー : Forrester - 「データリテラシーを使ってインサイト主導型文化を構築する」

データ懐疑主義者向けの学習資料

目標のスキルセット	求める結果	学習資料
マインドセット	「勘」や「前例重視」の考え方を廃し、批判的なアナリティクススキルを利用 批判的思考 / アナリティクス思考のスキルの開発 意思決定リテラシーのスキルの開発	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャスト：「Freakonomics」 ポッドキャスト：「More or Less」 書籍：Freakonomics シリーズ (特に「0 ベース思考」) 書籍：「The Demon-Haunted World—Science as a Candle in the Dark」
リーダーシップ	強力なリーダーシップスキルの学習と開発開始、またはこの分野ですでに開発されたスキルの継続的構築	<ul style="list-style-type: none"> 書籍：「First, Break All the Rules」 書籍：「人を動かす」 書籍：「モチベーション 3.0」
コミュニケーション	データに関する懸念や妨害を正しく伝える一方で、積極的に話を聴く能力の開発 データの語彙や流暢さの初歩的スキルを学習 / 開発	<ul style="list-style-type: none"> 書籍：「人を動かす」
統計 / アナリティクススキル	統計 / アナリティクスのスキルとビジネスにおける用途 / ニーズについて、ごく初歩的な理解の学習と開発を開始 統計 / アナリティクスの概念とトレンドの学習を開始 アナリティクスの基礎知識の学習と理解	<ul style="list-style-type: none"> Qlik ILT:「データ アナリティクスの基礎」 ポッドキャスト：「Data Skeptic」 書籍：「Naked Statistics」 書籍：「シグナル & ノイズ：天才データアナリストの予測学」
コーディング	コーディングに関する初歩的スキルの開発と理解	
ビジュアライゼーションやストーリーテリングの継続的学習	ビジュアライゼーション構築の初歩的スキルの開発 基礎的なチャートとその目的の学習	<ul style="list-style-type: none"> Qlik Continuous Classroom (Qlik 継続的クラスルーム) のトラック：「ビジネス アナリスト、データ アーキテクト、システム管理者」 書籍：「The Story Factor: Inspiration, Influence, and Persuasion through the Art of Storytelling」 書籍：「Resonate: Present Visual Stories that Transform Audiences」
その他		<ul style="list-style-type: none"> ブログ：https://blog.qlik.com/jordan-morrow/ オンラインセミナー：「データサイエンス センtral-ギャップを埋める」 オンラインセミナー：Forrester - 「データリテラシーを使ってインサイト主導型文化を構築する」

データリテラシーを始めよう

Qlik は、ビジネスを変革し、社会を改善するデータの威力を確信しています。当社は、「データを使ってリードする」ことを目指すあらゆる組織で、データリテラシーのレベル向上に役立つプログラムを設計しました。

このプログラムからメリットを得るために、Qlik のお客様である必要はなく、Qlik 製品を購入する必要もありません。インストラクター主導の学習コースを除き、このプログラムの提供物はすべて無料です。

当社が提供する学習資料は、製品に依存しません。データ、アナリティクス、統計に関する一般的概念をベースとしており、あらゆるコンテキストや BI ツールで活用できます。

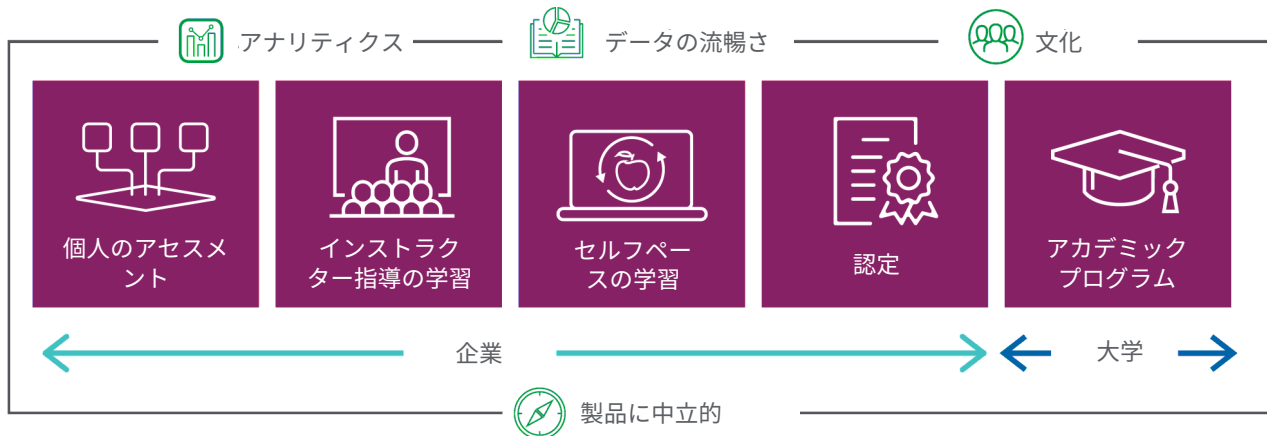
当社のプログラムは、企業ユーザー、学生ユーザー、非営利団体のユーザーなどすべてのユーザーが、自信をもってデータを理解、分析、活用できるように支援することを目的としています。

今日の労働環境に対応した学生の教育

最近の研究によると、16～24 歳の人々の 21% はデータリテラシーを備えています。

Qlik アカデミックプログラムでは、非営利および非営利認定を受けた大学の学生、教員、研究者に、無料の Qlik ソフトウェアおよびデータアナリティクスやデータリテラシーに関する資料を含む、学習資料を提供しています。これには Qlik Continuous Classroom (Qlik 継続的クラスルーム) への無料アクセスも含まれています。

詳細情報および具体的な開始方法については、qlik.com/getdataliterate をご覧ください。



Qlik について

Qlik の使命は、組織内の誰もがデータを使用して非常に困難な課題を解決できる、データリテラシーに富んだ世界を構築することです。組織のデータをあらゆるソースから取得して統合し、ユーザーがスキルレベルに関係なく探求心に従って新しいインサイトを明らかにできるのは、Qlik のエンドツーエンドのデータ管理とアナリティクスプラットフォームだけです。Qlik を使用すると、顧客の行動に関する理解を深め、ビジネスプロセスを刷新するとともに、新しい収益源を発見し、リスクとメリットのバランスを維持することができます。Qlik は、世界の 100 か国以上で、48,000 社以上の顧客に向けて事業を行っています。

www.qlik.com/ja-jp/